

第4学年 総合的な学習の時間 学習指導案
単元名：とびきりおいしい広甘藍PRプロジェクト
～うまいけえ食べてみんさい～

1. 日 時 令和5年11月29日(水) 第5校時
2. 学 年 4年1組(男子9名 女子7名 計16名)
3. 場 所 4年生教室
4. 授業者 兼澤 尚美

単元について

本単元は、「地域の特産物とその栽培・継承に力を注ぐ人々」という探究課題を踏まえて構想した単元である。

呉市の伝統野菜である、広甘藍のよさを探り、広甘藍を継承していこうと取組を続けている人や組織の存在や思いを知ることを通して、広甘藍の普及に向けて、自分たちができることは何かを学習の課題として設定したものである。

実際に、呉市の農業体験・食農教育支援事業の一環として、広甘藍の苗の定植から収穫などの農業体験と販売体験を行う。その体験を通して、地域に積極的に関わり、学習課題の解決に取り組んだものである。

本学級の児童は、今年度、環境について考えた学習で、グリーンカーテンを作る活動を行った。そこで、ゴーヤやフウセンカズラなどの植物の栽培を積極的に行うことができた。しかし、児童の生活環境から農業の体験がある児童は少ない。また、アンケート結果から「地域の特産物を知っている」と答えた児童は38%であり、特産物についてあまり理解がないことが分かる。

そこで、地域の伝統野菜である、広甘藍の農業体験を通して、広甘藍について調べ、広甘藍のよさを広めるために自分たちができることは何かを考え、具体的な活動を協働的に進めていくことができるようにしたい。

本単元は、「広甘藍のよさを広めるために自分たちができることは何か」を単元を貫く問いとし、三つの小単元で構成した。

まず、小単元1では、広甘藍の苗植えを体験するにあたり、まず、広甘藍についてインターネットで調べ関心をもつ。調べて出てきた広甘藍についての基本的な問いをもち、呉市農業振興センターの方に広甘藍や苗植えについて詳しく教えていただく。そして、実際に苗植えを体験することを通して感じた問いに迫っていく。具体的には、苗植えの作業に視点を当てるだけでなく、生産者の取組や生産組合、テレビ・新聞記者の取材等、広甘藍の生産に関わる組織の存在にも目を向けさせ、新たな問いを生み出させていく。

そして、小単元2では、苗植え体験を通して出てきた「広甘藍のよさを伝えたい」という課題の解決に向けて、広甘藍のよさをさらに調べていく。調べる方法として、新聞記事を活用する。その際、中国新聞出前講座で新聞記事の読み方を教わり、新聞記事から広甘藍のよさについてまとめていく。また、複数の新聞記事を読み比べ、広甘藍のこれまでの歩みについて調べまとめることで、よさを知ることができるようにさせる。

小単元3では、調べて分かった広甘藍のよさを伝えるための具体的な活動を考え、準備し、発信していく学習場面である。発信の相手は、お家・地域の人である。ここでは、発信する新聞やポスターに記載する広甘藍のよさについての情報を整理・分析し、友達と協力して準備を進めることが主な活動となる。広甘藍のよさをしっかりと伝えることができるように、農家の方や農業振興センターの方から意見をもらう場を設け、内容や構成を再検討して発信していくようにする。最後に、これまで学習してきたことのよさをふり返るとともに、地域との関わりを意識していこうとする態度を養っていききたい。

N I E の取組

本校では、昨年度から毎週水曜日の朝の帯タイム（８：１５～８：３０）に「N I E タイム」を設定し、学年の発達段階に応じて新聞記事を読む取組を実施している。そこでは、記事の概要をまとめる、記事の題名を考える、記事を読み自分の考えをもつなどの取組を行っている。この継続的な取組から、本児童は、新聞記事に慣れ親しむことができるようになっており、興味のある記事に目を向けたり、自分が知らない事柄の記事に意欲的にふれたりする姿勢が見られるようになってきている。

さらに、国語科の学習では、新聞作りについての小単元で、新聞の構成について学習し、その後中国新聞出前講座で新聞記事の読み方を教わった。本児童は、N I E タイムでの学習の継続、出前講座により、記事の読み方を学習・理解し、記事の内容の大体を把握するなど記事を読むことができるようになってきている。

また、夏休みには、中国新聞社主催のジュニア新聞コンクールにも取組、それぞれが興味関心のある内容を読み手に伝わりやすいように新聞に表した。

単元の目標

- 地域の伝統野菜・広甘藍の農業体験や広甘藍のよさを伝える活動を通して、伝統野菜のよさ、生産する人々の思いや組織の意図や願いについて理解し、自分にできることを考えるとともに、地域との関わりを意識しながら自らの生活や行動に生かすことができるようにする。
- 課題解決のために、広甘藍に関わる新聞記事から必要な情報を収集し、記事の内容をとらえ、複数の記事を比較したり関連付けたりして、自分の考えを持つことができるようにする。

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①広甘藍のこれまでの歩みやよさを新聞記事から収集し、複数の情報を比較したり関連付けたりして、理解している。 ②広甘藍のよさの理解は、生産する人々の思いとの関係を探的に学習してきたことの成果であると気付いている。 ③新聞記事の読み方を理解している。(☆)	①農業体験から問いを見だし、広甘藍のよさを探る課題を設定し、課題に向けて見通しをもっている。 ②広甘藍のよさを伝えるために必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関連付けたりしながら解決に向けて考えている。 ③伝える相手や目的に応じて、自分の考えをまとめ、適切な方法で表現している。 ④記事の内容をとらえ、読み比べができ、自分の考えを持っている。(☆)	①伝統野菜の広甘藍に関心をもち、農業体験から得た知識や感じたことを生かしながら、課題解決に取り組もうとしている。 ②広甘藍のよさを伝えるために、友達の考えを生かしながら、協働して課題を解決しようとしている。 ③課題解決の状況をふり返り、広甘藍の普及のためにできることを考えて積極的に関わろうとしている。 ④課題解決のために積極的に新聞記事を読もうとしている。(☆)

※ N I E との関連 (☆)

指導計画（全28時間）

小単元名（時数）	ねらい・学習活動	評価の観点		
		知・技	思・判・表	主体
1 広甘藍のなえ 植えを体験しよう。 （8）	<ul style="list-style-type: none"> ・広甘藍について関心をもち、インターネットで調べる。 ・農業振興センターの方から広甘藍について話を聞く。 ・広甘藍の苗植え体験をする。 			① (行動観察)
	<ul style="list-style-type: none"> ・苗植え体験から、生産者の取組や組織の存在についてふり返りをする。 ・ふり返りから「広甘藍のよさを伝えよう」という課題を設定し、学習計画を立てる。 		① (ワークシート)	
2 広甘藍のよさをもっと調べよう。 （10）	<ul style="list-style-type: none"> ・広甘藍の販売に向けて、広甘藍のよさを伝える見通しをもつ。 			① (発言内容)
	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットや過去の新聞記事から広甘藍について調べる。 	① (ワークシート)	④ (ワークシート)	④ (行動観察)
	<ul style="list-style-type: none"> ・農家の方から広甘藍の世話の仕方や苦勞を聞き、生産者の思いをまとめる。 ・聞いたことや調べたことを整理して、広甘藍のよさを伝えるための具体的な活動を考える。 		② (発言内容, ワークシート)	
3 広甘藍のよさを伝えよう。（10）	<ul style="list-style-type: none"> ・広甘藍のよさを伝えるための活動を企画する。 			② (発言内容)
	<ul style="list-style-type: none"> ・販売までに広甘藍のよさを伝える準備を進める。（新聞・ポスター） 		③ (発言内容, 表現物)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・成果物（新聞）を農家や農業振興センターの方に見てもらい、感想・評価をもらう。 ・成果物（新聞）を再構成するために話し合う。（本時23/28） ・成果物（新聞）を修正し、完成させる。 	② (発言内容, ワークシート)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・成果物を学校の家庭、地域の方に配布する。 ・広甘藍の収穫・販売体験をする。 ・広甘藍の普及に向けて、これまでの活動をふり返ってまとめる。 			③ (行動観察, ふり返りカード)

本時

(1) 本時の目標

- 広甘藍のよさを伝えるには、生産者の思いを入れるとよりよさが伝わると気付くことができる。

(2) 学習の展開

学 習 活 動	主な発問 (◎) と発問 (○) 予想される児童 (・)	●評価規準【観点】 ☆指導上の留意点
1 本時までの学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広甘藍のよさを伝える新聞を作りました。 ・ できた新聞を振興センターの香野さんに見ていただきました。 	☆ 新聞の作り方の確認 ①見出しを工夫 ②一番伝えたい内容は題字の横 ③真ん中の記事は注目してもらいたい内容
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> 【めあて】 農業振興センターさんからの返信をもとに、新聞をもっとよくするために話し合おう。 </div>		
3 グループで返信の内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ どのような返信があるか確認しましょう。 ・ 自分たちがまとめたことを褒めてくれている。 ・ ほかに書いてほしいことがあるんだ。 	思考を働かせる場の工夫 ☆ 返信の内容はどういったものか考えさせる。
4 返信の内容をもとに、新聞をさらに良くするために直すところを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 返信を生かして、自分たちのグループの新聞を直したらよいと思うことを出しあいましょう。 ・ どれを削って、どれを加えたらいいかな。 ・ 調べたことをもう一度見返してみよう。 ・ 新聞記事には、必ずインタビューが書かれてあるよ。 ・ 自分たちは、生産者の思いを入れていないな。 	☆ 自分たちが作った新聞にさらなる視点を加えることで、もっと広甘藍のよさを伝えることができそうだという意欲を持たせ、話し合いをさせるようにする。
5 全体交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 交流して気付いたことを発表しましょう。 ・ どのグループも生産者の苦労や願いを入れるとよりよさが伝わりそう。 ・ 「見えない」よさを伝えることが必要。 	思考を表現する場の工夫 ☆ 作った新聞のどこをどのように直すかよりよさが伝わるか発表させる。
6 まとめをする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 【まとめ】 広かんらのよさを伝えるには、生産する人の思いを入れるとよりよさが伝わる。 </div>	
7 「今日のなるほど」「明日のために」を発表する。	● 広甘藍のよさを伝えるには、生産者の思いを入れるとよりよさが伝わると気付いている。	
【期待される振り返り例】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広甘藍のよさと倉西さんたちの思いは、つながっているんだと思いました。 ・ 広甘藍のよさは、「柔らかくておいしい」だけではなく、倉西さんたちの一生懸命育てている思いも大事なよさだなと思いました。 		